

平成 28 年度 第 2 回 センター連絡会議 議事録

共通事項		
開催場所	日時	参加人数
松江	平成 29 年 2 月 16 日 (木)	21 名
浜田	平成 29 年 2 月 20 日 (月)	20 名
出雲	平成 29 年 2 月 28 日 (火)	25 名
内容	<p>1. あいさつ 当センター：安部事務局長（※内容省略）</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)就労事業振興センター事業の 28 年度(4 月～12 月)事業経過報告について (資料 1)</p> <p>(2)平成 29 年度の県の施策について (資料 2)</p> <p><補足／島根県障がい福祉課></p> <p>①ゆめいくサポート交付金 地元の中企業も対象。今年度 11 事業申請があった。</p> <p>②県庁チャレンジショップすまいる 利用者さんと職員さん一緒に販売し、年間を通してやってほしい。</p> <p>③優先調達による支援 県は 3300 万の調達目標がある。県でも訂正シール貼りなどの依頼があったかと思う。県としても福祉事業所の商品を購入したい。名刺・チラシ制作、稟議版、物品購入など早めに営業をかけられるといい。</p> <p>④行政への営業について 販路拡大や PR の面からすると、次年度予算は 6 月、7 月頃から動き出す。官公庁に営業にいくつもりであれば、県としても考えないといけないので、早目に営業したほうがいい。</p> <p><補足／当センター></p> <p>①工賃向上支援事業（補助事業）、ゆめいくサポート交付金 工賃向上支援事業（補助事業）に関しては、工賃向上を図るための補助金となっている。次年度の設備整備の 1 件分は満額補助可能。 ゆめいくワークサポート交付金事業はソフト事業が優先となる。</p> <p>②優先調達による支援 以前労働局から依頼があった草刈は人件費ではなく事務費の扱いになっていた。窓口は総務課で、普段から事業所のパンフレットなど置いておくとういのではないかと。</p>	

	<p>(3)福祉事業所の事業内容の調査について（資料 3）</p> <p>＜補足／当センター＞</p> <p>福祉事業所に発注したいが、何をどこに依頼すればいいか分からないとあきらめてしまう企業の声も聞く。リストを作成して配布することにより、掘り起しが出来るかもしれないので協力をお願いいたします。</p> <p>3. 連絡事項として</p> <p>(1)全国ナイスハートバザール 2017 in しまねについて（資料 4）</p> <p>＜補足／日本セルフセンター中四国ブロック支部長＞</p> <p>全国ナイスハートバザールは、島根では未開催でしたが平成 29 年度群馬と島根で開催する方向で決まっている。普段、県内の事業所が何をしているか情報を得られていないが、県内外の事業所を知る絶好の機会である。他を知る事で自主商品の見直しや新商品開発、工賃向上のアイデアが得られると思う。県内事業所間のネットワークづくりに現場の方々に参画いただき、全国ナイスハートバザールを盛り上げていただきたい。</p> <p>(2)アグリビジネススクール指導者養成コース募集案内（資料 5）</p> <p>4. その他（意見交換、事業所からの情報交換等）</p> <p>※各圏域の質疑応答を参照してください。</p>
--	--

松江圏域／質疑応答				
日時	平成 29 年 2 月 16 日（木） 14：00～16：00			
場所	松江合同庁舎 602 会議室			
参加者 21 名	福祉事業所	14 名	島根県農業経営課	1 名
	島根県障がい福祉課	1 名	当センター	5 名
内容	<p>■ 質疑応答</p> <p>※資料 2 について</p> <p><福祉事業所 → 島根県障がい福祉課></p> <p>Q. 設備整備に関する補助について年々予算が減っているということだが、現時点での来年度の補助事業の状況をもう少し詳しく聞きたい。</p> <p>A. 毎年だいたい予算の枠の中でぎりぎり収まる程度の金額の補助を行っている。内容に関しては要綱をしっかりと読んでいただいて、補助事業の趣旨と申請内容が合致していれば補助していこうと考えている。要綱に沿っていない、毎年同じ圏域、または同じ事業所には難しいところがある。事業所の方で内容を精査し、振興センターにまずご相談いただきたい。ただ予算にも限度があるため、申請のあった全ての事業所への補助は難しい可能性もある。</p> <p><当センター：補足></p> <p>設備整備の補助金に関して重要視されているのは「連携」が重要と思われる。一般企業との連携は過去にも事例がある。しかし中には企業と契約するから機械の申請を出された事例もあったが、補助金で購入した機械を使って仕事をもらえるからという理由の申請はなかなか補助の対象に難しい。</p>			

浜田圏域／質疑応答				
日時	平成 29 年 2 月 20 日 (月) 14:00～15:40			
場所	浜田合同庁舎 502 会議室			
参加者 20 名	福祉事業所	15 名	島根県障がい福祉課	1 名
	当センター	4 名		
内容	<p>■ 質疑応答</p> <p>※資料 2 について</p> <p><福祉事業所 → 島根県障がい福祉課></p> <p>Q. 共同での設備整備について、市の指定管理として市の建物で事業を行っている。市の建物でも申請は可能か。</p> <p>A. 内容による。過去の事例としては、食品加工の設備をしたい、冷蔵庫を設置したいと相談があった。建物は市の建物を借りていたが、市の方が許可をすればいいということで内部改造、建物の一部に冷蔵庫を設置した事例はある。県としては市の方が許可すれば問題がないが、優先順位として市の建物よりは事業所の建物が優先されるかもしれない。</p> <p><福祉事業所 → 当センター></p> <p>Q. 益田の方で農福連携の拠点をつくることは出来ますか？出雲でいうと農技センター、大田であれば農林大学校のような、情報発信の拠点があれば、柿やぶどうといった農家も担い手不足といった声があるので繋ぐことができる。連携出来れば障がい者の賃金向上にも繋がる。</p> <p>A. <当センター：矢田></p> <p>県下において拠点というものはどこにもない。農技センターは調査研究をした関係でいろいろしておられる。農大は研修をしているので、集まっているだけで、他は特にない。前から地域連携会議として、関係機関に集まっていたいで情報発信を行っている。福祉と農家や企業と連携が出来ないか投げかけている形ですので、すぐという形にはならない。農技センターや農大は技術的な拠点にはなるかと思います。皆さんが集まれば連携が出来てくると思いますので、こちらの方でも心がけるので、事業所の担当者の方も頑張ってもらいたくないでしょうか。</p> <p><当センター：大地本></p> <p>連携会議を当センターが毎年行っているため、農業関係の方にもご参加いただけることも検討出来るかと思う。また、益田での農福連携を広めていくということで、東部の事例紹介を行う研修会議を開催してもいいかもしれない。</p>			

	<p><当センター：安部></p> <p>安来市では、安来市が主催で一般企業が福祉事業所を視察する研修会を実施した。一番いいことは地元の自治体の方が主催すると地域と密着した支援になるので、いいのではないかと。県の出先機関の普及部も合わせていけば取組になるのではないかと思う。</p>
--	---

出雲圏域／質疑応答				
日時	平成 29 年 2 月 28 日（火） 14：00～16：00			
場所	出雲合同庁舎 501 会議室			
参加者 25 名	福祉事業所	19 名	島根県農業経営課	1 名
	島根県障がい福祉課	1 名	当センター	4 名
内容	<p>■ 質疑応答</p> <p>※資料 2 について</p> <p><福祉事業所 → 島根県障がい福祉課></p> <p>Q. 設備整備に関する補助金は、施設外就労先のトイレ設備でも申請は可能か。</p> <p>A. 今年度、移動式トイレと軽トラックを採択し約 170 万の補助金の交付を行った。トイレは、外で作業するにあたり必要なものである。相手先とどのように連携して工賃が向上するのか、補助金の趣旨に合致していれば可能。</p> <p><福祉事業所 → 島根県障がい福祉課></p> <p>Q. 設備整備はトイレに限らずスペース（休憩室）なども申請可能か。</p> <p>A. 設備整備はどのように連携していくかが重要なポイントである。</p> <p><当センター：補足></p> <p>あくまで設備は仮設で、福祉事業所の持ち物であること。設備の保有者、その後の管理なども関わってくる。</p>			